

# 株主の みなさまへ

第60期 第2四半期  
営業のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日



株式会社島精機製作所

証券コード: 6222

環境悪化にコロナ禍が重なり、大幅な赤字となりました。  
未来を見据えたビジネス展開を深化していきます。



代表取締役社長  
島 三博

**Q<sub>1</sub>** 上半期(2021年3月期)の業績について説明してください。

**A<sub>1</sub>** コロナ禍などの影響で大幅な赤字計上となりました。

上半期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各国で都市封鎖や外出制限などが実施され、多くの産業で活動が停滞したことにより大変厳しい状況となりました。

当社が製品を供給するアパレル・ファッション業界においても、店舗の休業・閉鎖、消費者の支出抑制などから販売が激減しました。コロナ禍の混乱の中で、アパレル各社は例年のように商品を企画できず、生産地でも多くの工場が設備投資を凍結しました。この状況下、主力である横編機事業は世界各地で受注が大幅に落ち込み、デザインシステム関連事業も海外を中心に売上が急減しました。

この結果、上半期の連結売上高は101億26百万円(前年同四半期比40.8%減)の大幅な減少となりました。利益面についても、売上高の減少に加え、

販売単価の下落や生産調整に伴い工場操業度が低下し、売上総利益率が悪化したことなどにより、営業損失41億83百万円(前年同四半期は営業損失27億10百万円)、経常損失31億35百万円(前年同四半期は経常損失28億99百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失32億8百万円(前年同四半期は四半期純損失20億61百万円)と前期に続く損失計上となりました。

なお、コロナ禍の収束時期が見通せず、今後も急速な回復が見込みにくいことから、当期の通期業績については売上高250億円、営業損失85億円、経常損失70億円、親会社株主に帰属する当期純損失72億円を計画しています。

## Q2 コロナ禍における取り組みを説明してください。

A2 支出の抑制とともに、未来につながる準備を進めています。

長期化が予想されるコロナ禍に対し、財務面の対策として「支出の抑制」に努めています。役員・管理職の報酬カット、

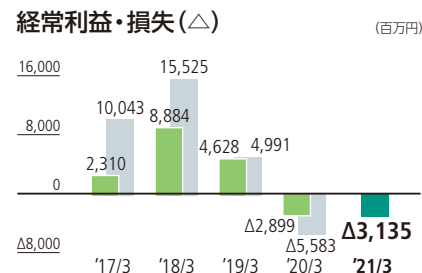
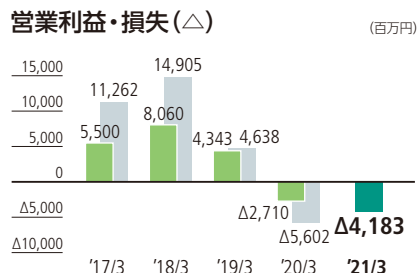
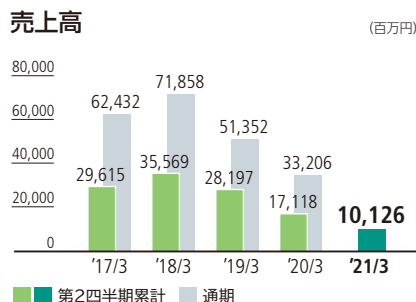
従業員賞与の減額など人件費抑制策を継続しているほか、原材料などの仕入れもできる限り抑え、投資に関しても急ぐ必要のないものは次年度以降に先延ばしをしています。

ただし、未来を見据えて必要不可欠と判断した投資は、止めることなく進めています。特に競争優位性の基盤となる技術開発は投資を継続しており、当期はいくつかの新サービスを発表しました。(詳細はP.7-8参照)

その一つがこの9月に開設した世界初のWEBサービス「yarnbank(ヤーンバンク)」です。このサービスは、世界各地の糸メーカーが登録した最新の糸データをニットメーカーやデザイナーが自由に検索・閲覧できるほか、当社のデザインシステムにおいて糸データを活用したリアルなバーチャルサンプルも作成できます。

同じく今年度中に発売予定の「APEXFiz(エイペックス・フィズ)」は、WEBを介して提供するデザインソフトウェアのサブスクリプションサービスです。テレワークの普及など勤務形態が多様化する中、より多くのユーザーのニーズに応えるべく5種類のグレードを用意しています。

また、企業の基盤である「人材」の育成についても、全社を



あげた取り組みを継続しています。社内ベンチャー制度によるチャレンジ精神の醸成に努めているほか、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に向けITスキルの強化を図るため、社員教育にも力を入れています。

### Q3 中長期的な事業展望について説明してください。

### A3 モノづくりのサプライチェーン全体を視野に入れ、提案活動を進めます。

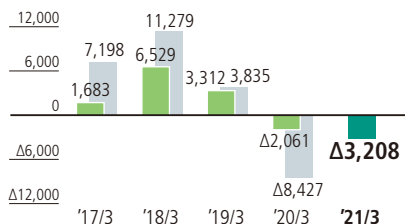
アパレル・ファッション業界では、コロナ禍が始まる前から世界的に設備投資の低迷が続いていました。

これは売れ残った衣料品の大量廃棄などが問題視され、アパレル・ファッション業界における環境意識の高まりを背景に、過剰生産や在庫数量を抑制する新たな方向性を業界全体が模索していたことの表れでもあったと捉えています。さらにコロナ禍を契機に、アパレル・ファッション業界は旧来のビジネスモデルから一刻も早く脱却しなければならないことが一層明白になりました。ニット製品づくりの

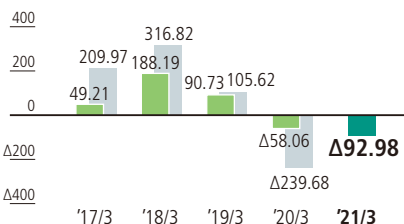
可能性を大きく広げるホールガーマント<sup>®</sup>横編機、バーチャルサンプルによって商品企画のプロセスを飛躍的に効率化する「SDS<sup>®</sup>-ONE APEX」シリーズなど、当社が提唱し続けてきた「トータルファッションシステム<sup>®</sup>」は、このような業界の課題に対し、有効な解決策を示すものです。当社はこれまで持続可能なビジネスモデルへの転換を支援するさまざまなソリューションを開発・提案し続けてきましたが、業界の構造変革が喫緊の課題になった現在の状況は、チャンスでもあるといえます。

業界全体を変革していくには、サプライチェーンの川上である原材料の領域や、川下である販売の領域も視野に入れる必要があります。当社のできること、やるべきことはまだまだたくさんあると考えています。原料から製造・販売までをデジタルで結びつけられる「yarnbank」はその第一歩です。これからも当社は技術力を核に、顧客課題を解決するトータルなソリューションを提供する企業として、より広い視野を持って開発・提案活動を深化させていきます。

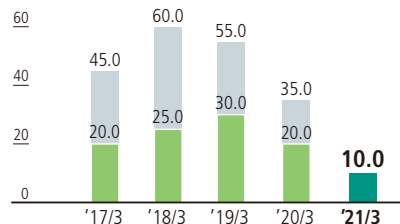
親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益・損失(△) (百万円)



1株当たり四半期(当期)  
純利益・損失(△) (円)



1株当たり配当金 (円)



**Q<sub>4</sub>** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A<sub>4</sub>** 社会課題の解決で、新たな成長を目指します。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、事業の持続的発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としています。上半期は大幅な損失計上となりましたが、この基本方針から中間配当金は一株につき10円で実施させていただきました。また期末配当金についても、一株あたり10円で実施させていただく予定です。

コロナ禍の影響がいつまで続き、どのような形で収束するのか、未だ先行きが見通せない状況ではありますが、アパレル・ファッション業界では、中国において内需向けの生産活動が少しずつ戻ってきています。アパレル・ファッション業界や社会ニーズの変化にいち早く取り組むことで、当社の新たな成長のチャンスは確実に広がっていくと考えています。

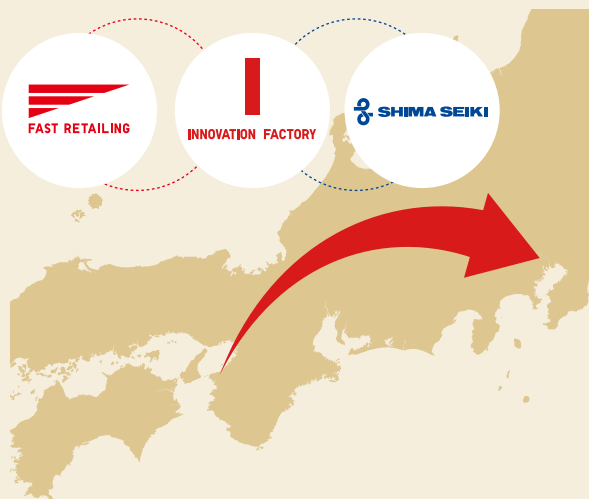
これからも当社は、社会課題の解決に幅広く貢献できる企業を目指し、経営理念「Ever Onward—限りなき前進」のもと歩み続けてまいります。株主の皆様には、引き続き温かいご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

## ファーストリテイリングとの合併事業が新たなステージへ移行

当社は、(株)ファーストリテイリングとの合併事業として、ホールガーメント<sup>®</sup>技術を活用したユニクロの“3Dニット”を生産するマザー工場の役割を担う(株)イノベーションファクトリーを和歌山において共同で運営してきました。

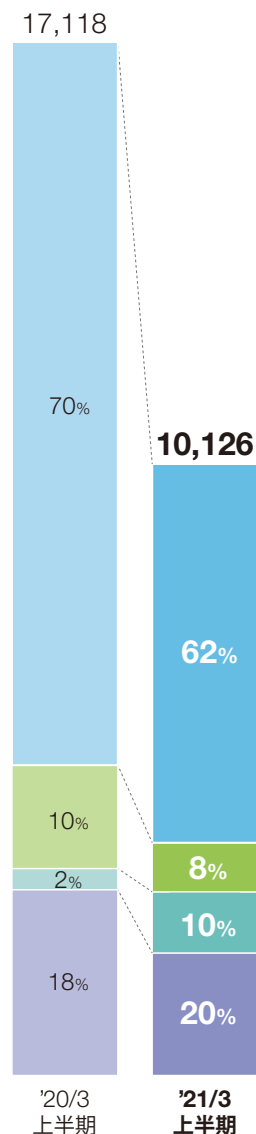
この取り組みにより、ホールガーメント製品は市場での認知度が大きく向上し、当社のホールガーメント横編機事業も順調に推移してきました。

このような中、当社の提唱するホールガーメントを核とするサステイナブルなモノづくりのさらなる浸透と、ファーストリテイリンググループが推進している「有明プロジェクト」をさらに加速させるために、(株)イノベーションファクトリーの東京への移転・規模拡大を図ることとし、あわせて同社の出資比率を見直すことになりました。



事業別売上高構成比

(百万円)



横編機事業

売上高

62.3億円

前年同期比  
47.7% ↓

営業利益

△10.0億円

前年同期比  
-



•コロナ禍などの影響で、世界各地でアパレル産業の設備投資が低調



デザインシステム  
関連事業

売上高

8.3億円

前年同期比  
52.9% ↓

営業利益

△0.1億円

前年同期比  
-



•横編機販売の不振に連動して減少  
•自動裁断機もテキスタイル分野での需要の落ち込みにより販売が低調



手袋靴下編機  
事業

売上高

9.9億円

前年同期比  
145.2% ↑

営業利益

△1.6億円

前年同期比  
-



•コロナ禍でも、大手ユーザーが設備投資を実行



その他事業

売上高

20.5億円

前年同期比  
31.8% ↓

営業利益

△0.1億円

前年同期比  
-



•ユーザーの生産活動が低迷し、部品販売や紡績事業などの売上が減少

# 将来の成長に向け、生産効率化と人材育成を強化

## 自社技術を活用して自動機の内製化を推進

生產業務の効率化を目指し、シマセイキ本社工場では組立工程などにおける手作業を機械（自動機）に置き換える「自動化」の取り組みを加速させています。

これまでは、自動機の大半を外部に委託していましたが、2012年頃から自社内に蓄積した多様な技術や設備を生かして内製化に取り組み始めました。2019年4月には、専門部隊「自動機チーム」を設置して、自動化の活動がさらに活発化しています。

## 生産現場で鍛えた技術力・人材を製品開発に生かす

自動機の内製化には「現場ニーズに応じた柔軟な製作が可能」といったメリットがありますが、もう一つの大きなねらいが「人材育成」です。

自動化に必要な技術の多くは、横編機など製品の要素技術と重なっています。そのため若手社員を多く配属し、経験豊富なベテランから高度な知識・技術を学ぶことで、優れた自動機的设计スキルを持つ技術者を育てることが、将来的に製品開発力の強化にもつながります。

## 事例紹介:アクチュエーターBOX組立装置

横編機の中核部品、アクチュエーターの組み立てを自動化し、組み立てにかかる時間をこれまでの約10分の1に短縮。品質の安定と作業負担の軽減も実現しました。



基板をBOXにセット



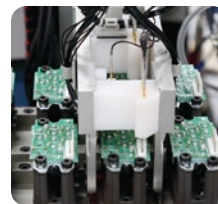
ハンダ付け



取り付けネジ挿入



### 特長: 全機種を1台で対応



横編機により異なるアクチュエーターの数を自動的に把握。全機種をこの1台で対応可能にしました。

### 特長: 画像認識を活用



当社で初めて画像認識を利用。ハンダ付けの良否判定を自動化しました。



# Withコロナ時代にマッチしたサービスを、次々とリリ



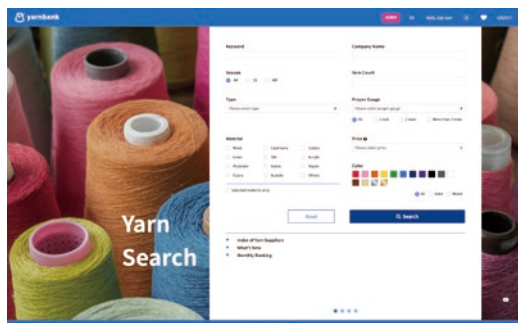
## 糸メーカーとアパレルをデジタルで繋ぐ 世界初のWEBサービス

2020年9月に開設したyarnbank(ヤーンバンク)は、「糸」に関する幅広い情報を検索できる世界初のWEBサービスです。

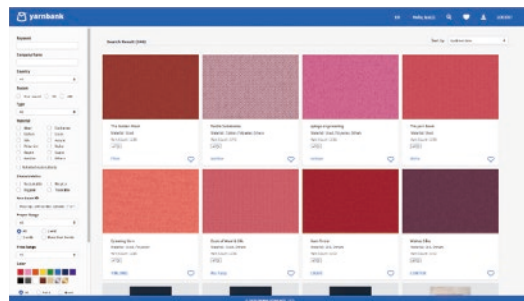
同サイトには、世界各地の糸メーカーが自社の最新の糸情報や糸のデジタルデータを登録。アパレル企業やニットメーカーなどのユーザーは、膨大な糸の情報を自由に閲覧・検索できます。さらに、デジタル化された糸データをダウンロードすることも可能で、当社デザインシステムを使えば、生産に即したリアルなバーチャルサンプルが容易に制作できます。

yarnbankは糸メーカーにも優れたメリットを提供します。これまで糸の提案活動では現物を満載した「見本帳」が必須でしたが、yarnbankであれば見本帳の作成に要していた原料・時間・コストを削減できるだけでなく、遠く離れた海外のユーザーにも自社製品の強みや特徴を瞬時に伝えることができます。

### ■ 糸メーカーとコラボレーション



素材や色など、さまざまな条件を指定してスピーディーに糸を検索できます。



糸の詳細情報や、各色の編地イメージ、製品写真などの情報を確認できます。

### yarnbankスペシャルサイト



QRコードはこちら

<https://yarnbank.shimaseiki.com/ja>

※ Google Chrome、Microsoft Edgeを推奨。スマートフォン・タブレットは未対応。



# ースしました。

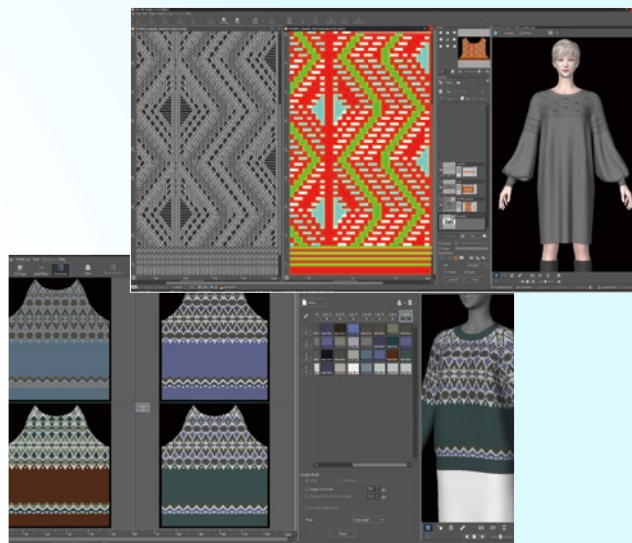
## APEX F i Z™

### デザインシステムを どこでも定額で利用可能に

APEXFiz (エイペックス・フィズ) はデザインシステム「SDS®-ONE APEX」シリーズの強みをそのままに、多様化する勤務形態にフィットするソフトウェアのサブスクリプションサービスです。簡易版からフルスペック版まで5種類の製品ラインアップを用意しており、お客様のニーズに応じて選択できます。

従来の「SDS-ONE APEX」シリーズと同様、企画・デザインから配色検討、リアルなファブリックシミュレーション、そして製品の3Dバーチャルサンプリングの作成も、APEXFizで行えます。

作成したバーチャルサンプルのデータは、ニットメーカーに転送することで生産プログラムとして変換が可能。企画と生産がデジタルでつながり、両者間のコミュニケーションが円滑になります。リードタイムを削減しつつ、より正確なモノづくりを実現します。



### APEXFizスペシャルサイト



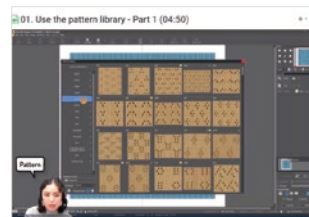
QRコードはこちら

<https://www.shimaseiki.co.jp/product/design/software/>



### どこでも受講可能なeラーニングシステム

SHIMANAVI(シマナビ)は、「SDS-ONE APEX」シリーズ用のeラーニングシステムです。お客様の都合の良いタイミング、ペースで受講でき、テレワークなどの新しい勤務形態にもマッチします。お客様のニーズに応じたさまざまなコースを、多言語対応で用意しています。



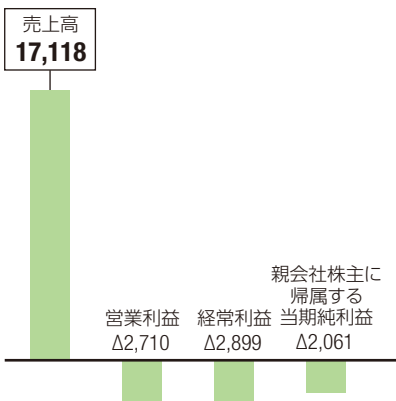


## ① 損益計算書の概要

(百万円)

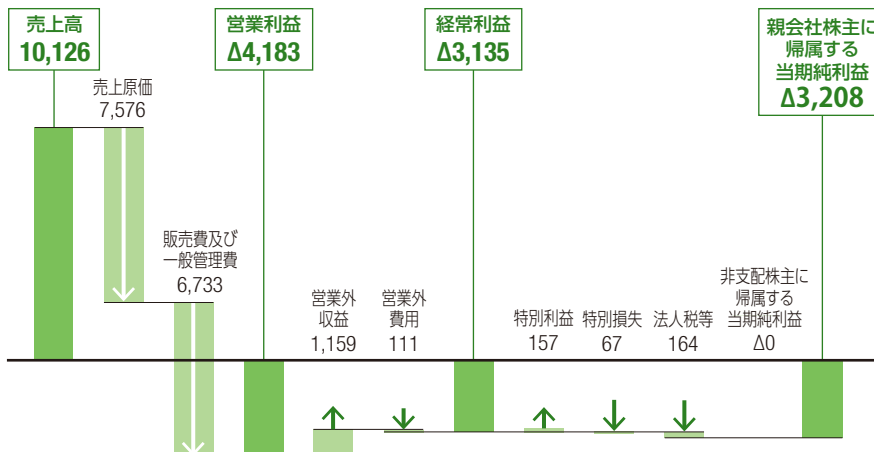
### 前第2四半期累計

(2019年4月1日～2019年9月30日)



### 当第2四半期累計

(2020年4月1日～2020年9月30日)

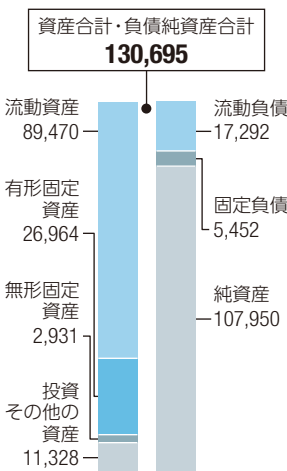


## ② 貸借対照表の概要

(百万円)

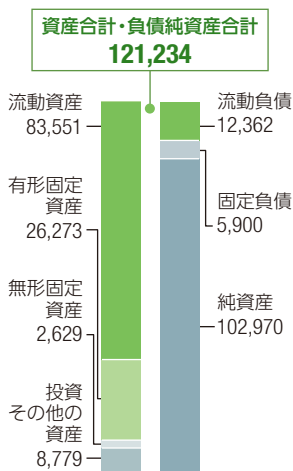
### 前期末

(2020年3月31日)



### 当第2四半期末

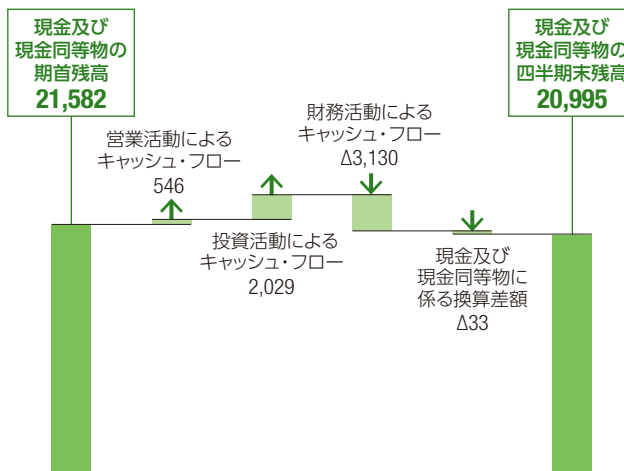
(2020年9月30日)



## ③ キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

### 当第2四半期累計



## 会社概要・株式概要

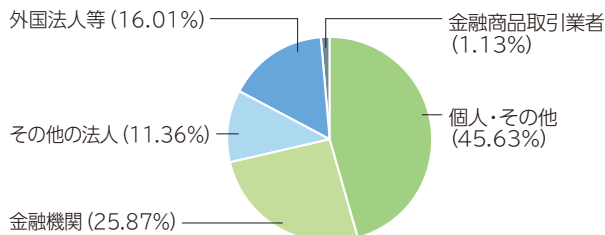
### 会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社島精機製作所  
 (英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.  
 本社 和歌山県和歌山市坂田85番地  
 創立 1962年2月4日  
 資本金 148億5,980万円  
 従業員数 1,478名(連結1,988名)  
 事業内容 コンピュータ横編機  
 デザインシステム  
 自動裁断機  
 手袋靴下編機 などの開発、製造、販売

### 役員 (2020年9月30日現在)

地位	氏名	担当及び重要な兼職
代表取締役会長	島 正博	
代表取締役社長	島 三博	執行役員営業本部長兼トータルデザインセンター、経営企画部担当
常務取締役	有北 礼治	執行役員資材部長兼生産本部担当
取締役	梅田 郁人	執行役員島精機(香港)有限公司CEO
取締役	南木 隆	執行役員管理本部長兼物流部担当
取締役	西谷 泰和	執行役員開発本部長
社外取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO / キャスター
社外取締役	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデュース 代表取締役社長/プロデューサー
取締役 (常勤監査等委員)	戸津井 久仁	
社外取締役 (監査等委員)	新川 大祐	北斗税理士法人 代表社員
社外取締役 (監査等委員)	野村 祥子	堂島法律事務所 パートナー弁護士

### 所有者別分布



### 株式の状況 (2020年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株  
 ②発行済株式の総数…………… 35,800,000株  
 ③株主数…………… 16,705名  
 ④大株主

(千株未満切り捨て)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	3,001	8.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,745	5.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,421	4.12
株式会社紀陽銀行	1,387	4.02
島 正 博	1,070	3.10
島 三 博	1,061	3.08
株式会社三菱UFJ銀行	880	2.55
合同会社和光	780	2.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	663	1.92
梅田 千 景	632	1.83

- (注) 1. 当社は、自己株式1,288千株を保有しています。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 基準日 3月31日  
開催日 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告  
下記当社ホームページに掲載  
(<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって  
電子公告によることができない場合は、日本  
経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地  
TEL(073)471-0511(代表)

<https://www.shimaseiki.co.jp/>



ホールガーメント及びWHOLEGARMENT等は株式会社島精機製作所の登録商標です。  
この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。

## 株式に関する 『マイナンバーお届出』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。お届出をされていない株主様におかれましては、お取引の証券会社等へお届出ください。

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様  
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
TEL:0120-094-777



ユニバーサルデザイン  
(UD)の考えに基づいた  
見やすいデザインの文字を  
採用しています。



環境や健康に影響のある  
揮発性の有機溶剤を  
含まないインクを  
使用しています。



この報告書は環境に  
やさしいベジタブルオイル  
インクを使用しています。



きちんと管理された認証林からの  
木材や環境・社会的なリスクが低いと  
された原材料等から作られています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

プラスチックなど、  
紙のリサイクルを阻害する  
材料を使用していません。